資料提供	
令和８年 11 月６日	
担当課 (担当者)	ｽﾏｰﾄｴﾈﾙｷﾞｰﾀｳﾝ推進室 （鳥飼・松尾）
電　話	30-8288(内線：7516)

第８回マイクラカップ鳥取ブロック地区大会が開催されます
～教育版マインクラフトで創った「β世代の鳥取」を発表～

鳥取市は、内閣府から「SDGs 未来都市」の認定を受け、SDGs の理念に基づき、経済・環境・社会の３つの側面での取組を進めています。

持続可能なまちづくりを推進する鳥取市 SDGs 未来都市計画の一環として、鳥取市は、プログラミングやデジタルものづくりにチャレンジする子どもたちを応援するため、第 8 回マイクラカップの自治体パートナーに参画しました。

この度、**県内初となる**「鳥取ブロック地区大会」が下記の通り鳥取市で開催されます。

本市も本大会に協力するとともに、自治体パートナー特別賞「SANDBOX TOTTORI 賞」を鳥取市 SDGs 未来都市計画の理念を体現した、持続可能なまちづくりを最も表現した作品に授与します。

記

■実施概要
日　　時：令和８年 11 月 15 日（日）13:00 ～ 16:30
場　　所：イオンモール鳥取北 セントラルコート（鳥取市晩稲 348）
主な実施内容：教育版マインクラフト体験会
　　子どもたちの作品発表・審査会
　　関係者トークイベント
主　　催：NPO 法人デジタルものづくり協議会（マイクラカップ事務局）
後　　援：文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、デジタル庁

■当日のスケジュール
・ 13:00　開会式・作品発表・審査会
・ 14:50　トークイベント～マイクラってまなびになるの？～・審査協議
・ 15:50　表彰式・閉会式
・ 16:00　記念写真・終了

■取材申し込み・問い合わせ先
NPO 法人デジタルものづくり協議会（マイクラカップ事務局）
広報担当：福島・長澤
住　　所：〒113-0022　東京都文京区千駄木 2-10-17-102
T　E　L：03-6820-6782
E m a i l：press@dmcouncil.or.jp

WEB エントリーはこちら

報道関係各位

2026 年 10 月 23 日

NPO 法人デジタルものづくり協議会

【第 8 回マイクラカップ 鳥取ブロック地区大会開催】

出生率の数字から考えた「子どもを産み育てたくなるまち」――
子どもたちが教育版マインクラフトで探った「β 世代の鳥取」を、11 月 15 日に発表

～全国 700 作品の中から選ばれた、鳥取ブロック 11 作品が集結～

NPO 法人デジタルものづくり協議会は、11 月 15 日に鳥取県にある「イオンモール鳥取北」にて、第 8 回マイクラカップ地区大会 鳥取ブロックを開催します。マイクラカップは、高校生以下の子どもたちが、世界中の教育現場で活用が広がっているゲーム「教育版マインクラフト」を使い、社会課題の解決策を「まち」として仮想空間に設計し、発表する全国大会です。第 8 回のテーマは「みんなが輝く！β 世代※の未来のまち ～人口・年齢のバランスが変わる社会をどう生きる？～」。

全国から 700 作品の応募があり、その中から 11 作品が地区大会に進出しています。審査を通過したチームは、2027 年 2 月 14 日（日）に東京大学で開催される全国大会に出場します。

※「β 世代」とは、2025 年頃から 2039 年頃に生まれる世代を指します。





昨年の地区大会の様子。
子どもたちがさまざまな工夫をしてマインクラフトで作った「まち」を発表します。

▼鳥取ブロックの子どもたちが見つけた答え

鳥取ブロックの 11 作品の中には、社会の数字やデータを調べ、自分なりの答えにたどり着いた作品もあります。

【β の楽園(ベータズ・パラダイス）～子どもを産み育てたくなる未来のまち～】（小学生編成・danngo10tora）

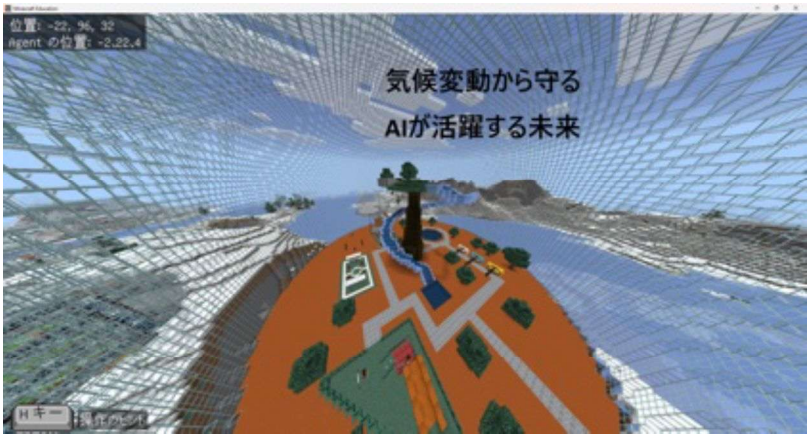
江府町の小中学生向けクリエイティブ講座から参加した 1 人チームが、実際の合計特殊出生率のデータを調べ、子どもが喜ぶ施設と高齢者も立ち寄りやすい和風カフェを組み合わせた「産み育てたくなるまち」を設計しました。



「β の楽園(ベータズ・パラダイス)」チーム：danngo10tora

【気候変動から守る AI が活躍する未来】（中高生編成・チームふく）

中学 1 年生が 1 人で、AI 稼働に必要な電力を地熱発電などのクリーンエネルギーでまかなう「エネルギードーム」を考案し、バーチャル化が進む未来でもあえて人が顔を合わせる広場を中心に据えたまちを設計しました。



「気候変動から守る AI が活躍する未来」チーム：チームふく

このほか、GX の視点からまちづくりを考えた「GX を取り入れた町づくり」（小学生編成・Team β）など、鳥取ブロックの 11 作品それぞれが、自分なりの視点で未来のまちを描いています。

▼鳥取ブロック地区大会 日時・タイムスケジュール

日時：2026 年 11 月 15 日（日）13:00～16:30（終了時刻は、出場作品数により変更となる場合があります）

会場：イオンモール鳥取北（鳥取県鳥取市晩稲 348）

13:00～	①開会式　②作品発表・審査会	**15:50～**	表彰式・閉会式

14:50〜	トークイベント〜マイクラってまなびになるの？〜・審査協議	**16:30〜**	記念撮影・終了

※チームへの個別取材なども可能です。

▼審査員

池田 夏暉（青翔開智中学校・高等学校）　宇佐美 孝太（株式会社 skyer）　奥谷 秀平（株式会社 overlay）　吉岡 将汰（鳥取大学）

▼発表方法

チームごとに、以下の内容を発表する審査会方式。

① 1 分間の作品紹介動画の再生	② 2 分間のスピーチによるプレゼンテーション	③ 審査員からの質疑応答

子どもたちが自分の言葉で「なぜこのまちを作ったのか」を語る姿が、取材の見どころです。

▼自治体パートナーの紹介

マイクラカップでは、住んでいる地域や環境にかかわらず、デジタルものづくり教育に触れられる機会を子どもたちに届けるため、全国 32 の自治体に大会パートナーという形で応援いただいています。

鳥取ブロックでは、「鳥取県鳥取市」「鳥取県日南町」の 2 自治体に応援をいただいており、それぞれ以下の特別賞が設けられています。

・鳥取県鳥取市「SANDBOX TOTTORI 賞」：鳥取市 SDGs 未来都市計画の理念を体現した、持続可能なまちづくりを表現した作品に贈られる賞

・鳥取県日南町「SDGs 未来都市にちなん賞」：地域の特徴を活かし、レジリエンスが表現され、一人ひとりが安心して幸せを感じられるまちを描いた作品に贈られる賞

▼大会概要

マイクラカップ公式サイト：https://mccup.jp/
特別パートナー：日本マイクロソフト株式会社、一般社団法人 ICT CONNECT 21
後　　援：文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、デジタル庁
主　　催：NPO 法人デジタルものづくり協議会（マイクラカップ運営事務局）

▼マイクラカップ概要

マイクラカップは「ひとりひとりが可能性に挑戦できる場所」をコンセプトに、すべての子どもたちにプログラミング教育やデジタルものづくり体験を届けることを目指して開催しています。地区大会を通過した作品は、全国大会に進出します。私たちが独自に行っている東京大学との共同研究では、大会に参加した子どもたちは視点の転換や多様な発想を生み出そうとする「柔軟性」が伸びている傾向があることが明らかになりました。グローバル化や情報化が進み、変化の早いこれからの時代に、自分で考え、他者と協力し、柔軟

に新しいものを創造する経験は、子どもたちひとりひとりの能力を成長させ、新たな可能性に挑戦する機会を生み出すことに繋がると考えています。

【取材申し込み・お問い合わせ】

鳥取ブロック地区大会（11 月 15 日）の取材を心よりお待ちしております。ぜひ会場で、「未来の鳥取」の子どもたちの発表をご覧いただければと思います。

当日の取材をご希望の方は、WEB エントリーでのお申し込みか、下記までご連絡ください。

NPO 法人デジタルものづくり協議会（マイクラカップ運営事務局）
住所：〒113-0022　東京都文京区千駄木 2-10-17-102
広報担当：福島／長澤
TEL：03-6820-6782
メール：press@dmcouncil.or.jp

WEB エントリーはこちら

https://entry.mccup.jp/2026local/

鳥取ブロック地区大会進出作品を含む予選通過作品の一覧はこちらからご覧いただけます。
（https://mccup.jp/29415/）